

News Release

2022 年 6 月 1 日
国立大学法人 一橋大学
社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター (HIAS Health)

一橋大学では、「HIAS Health 医療経済短期集中コース」の受講申込みの受付を 2022 年 6 月 1 日 (水) より、開始します。

「HIAS Health 医療経済短期集中コース」は、医療経済分析の手法を基礎から実践的に学ぶ、社会人の方を対象とした 2 週間(週末の 4 日間)の短期集中コースです。第 5 回目となる 2022 年度は、【11 月 18 日(金)から 11 月 27 日(日)】に開講いたします。

医療・介護の現場の専門職、医療・社会保障政策を立案する自治体職員、また民間企業の方を対象に、Evidence-based Policy Making (EBPM-科学的な根拠に基づく政策立案)の考え方と根拠の求め方を、演習を交えて基礎から学び、理解していただくことを目的として、一橋大学大学院経済学研究科および社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター (HIAS Health) が実施するものです。今年は基調講演等におきまして、コロナ禍への現場の対応と全世代型社会保障の構築に向けた課題を取り上げる場を設けさせて頂きました。参加者の方々とも積極的に議論させて頂ければと存じます。

コースの概要

期間 2022 年 11 月 19 日(土)、20 日(日)、26 日(土)、27 日(日)
11 月 18 日(金) 15 時から、希望者を対象に「コースで使われる統計学の基本」の講義を行います。

会場 オンライン開催

受講料 15 万円/人 ※受講料には、テキスト代等を含みます。

受講申込 Web 申込となります。受付期間は、6 月 1 日(水)から 8 月 31 日(水)までです。
<https://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/program/>
定員は 25 名程度で、受講申込書に基づいて書類選考が行われます。

コースの特徴

データから日本の医療を考えるための手法を実践的に学びます。HIAS Health における最先端の研究成果に触れることができます。医療経済分析における実践的な統計の手法について、講義とエクセル等の統計ソフトを用いた演習を通じて学ぶことができます。講義や講演などの座学と、演習やグループワークを組み合わせたアクティブ・ラーニングが導入され、より深い理解が得られます。医療従事者、地方自治体職員、民間企業社員と、受講者は多様です。4 日間のコースを通じて、経歴や立場の異なる受講者間の交流・関係構築が促進されます。

コース開設の背景

100 歳時代の到来や医療の高度・高額化に伴い、日本の国民医療費は年間 42 兆円を超え、深刻な財政リスクとなっています。医療・介護への社会のニーズを満たしつつ、制度を「持続可能」にするには、限られた資源(予算)の効率的な活用を考えなければなりません。そのために、これまで臨床・疫学的なアプローチが主流であった医療・介護分野の政策決定に、EBPM (科学的な根拠に基づく政策立案)を取り入れることが求められています。医療・介護に関わる専門職の方々が EBPM の考え方を理解することが、これまでに増して重要となっています。

お問合せ先

国立大学法人 一橋大学
社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター (HIAS Health)
住所 〒186-8601 東京都国立市中 2 丁目 1 番地
E-mail hias-info@ad.hit-u.ac.jp
HP <https://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/>

一橋大学 HIAS Health 社会連携プログラム 第5回医療経済短期集中コース（2022年度）

時間割り

20220524現在

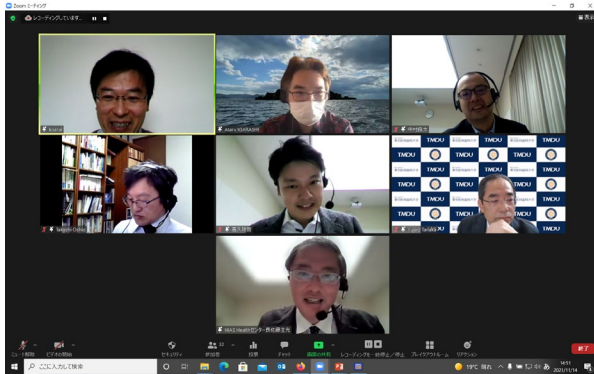
11月	18日	(金)	15:00 — 18:30	コースで使われる統計学の基本（希望者のみ） ※追加料金はありません。 ※ 表計算ソフトを用いた実技も行います。 講師：中村良太 一橋大学社会科学高等研究院教授／HIAS Health 研究員
11月	19日	(土)	9:00 — 9:30	オリエンテーション
			9:30 — 12:00	テーマ1：医療保健政策の政策評価 講義と演習（表計算ソフトを用いた実技） 講師：高久玲音 一橋大学大学院経済学研究科准教授／HIAS Health 研究員
			12:00 — 13:30	昼食（受講生全員の自己紹介タイムを設ける）
			13:30 — 16:00	テーマ2：費用対効果分析 講義と演習（表計算ソフトを用いた実技） 講師：五十嵐中 東京大学大学院薬学系研究科客員准教授／HIAS Health 客員研究員
			16:00 — 16:10	休憩
			16:10 — 17:40	基調講演1 コロナ禍で明らかになった真に求められるかかりつけ医療とは？ 講師：大橋博樹 医療法人社団 家族の森 多摩ファミリークリニック院長
			18:00 — 19:30	受講生の交流会
11月	20日	(日)	9:30 — 12:00	テーマ3：医療機関の管理会計について 講義と演習（バランスト・スコアカード） 講師：荒井耕 一橋大学大学院経営管理研究科教授／HIAS Health 研究員
			12:00 — 13:00	昼食
			13:00 — 14:30	基調講演2 社会保障制度は成長の原動力 講師：清家篤 慶應義塾学事顧問
			14:30 — 14:40	休憩
			14:40 — 15:30	実践現場からの報告1 奈良県におけるエビデンスに基づいた新型コロナウイルス対策 講師：尾崎俊之 奈良県知事公室次長（防災担当）
			15:30 — 15:40	休憩
			15:40 — 16:30	実践現場からの報告2 UHCに向けた日本のグローバルヘルスへの取り組み 講師：牧本小枝 国際協力機構(JICA) 緒方貞子平和開発研究所 主席研究員
			16:30 — 16:40	休憩
			16:40 — 17:00	グループワーク 準備（受講生のみ）
11月	26日	(土)	9:30 — 11:00	テーマ4 制度設計のための医療・介護に係る大規模行政管理情報の利活用について 一次世代へ向けた医療ビッグデータ整備の現状と課題 講師：野口晴子 早稲田大学政治経済学術院教授
			11:00 — 11:10	休憩
			11:10 — 12:00	実践現場からの報告3 研究領域融合によるユニバーサルメディカルアクセスの実現 講師：丸山修 国立研究開発法人産業技術総合研究所 生命工学領域 健康医工学研究部門 総括研究主幹
			12:00 — 13:00	昼食
			13:00 — 13:50	実践現場からの報告4 持続可能で質の高い医療提供体制構築に向けて ～シンクタンク系コンサルティング企業の取り組み～ 講師：山本健人 株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 マネジャー
			13:50 — 14:00	休憩
			14:00 — 17:00	グループワーク
11月	27日	(日)	9:30 — 11:30	グループワーク 報告
			11:30 — 12:30	昼食
			12:30 — 14:30	グループワーク 報告
			14:30 — 14:40	全体写真 撮影
			14:40 — 16:10	パネルディスカッション
			16:10 — 16:20	休憩
			16:20 — 16:40	認証式

受講申込方法等概要

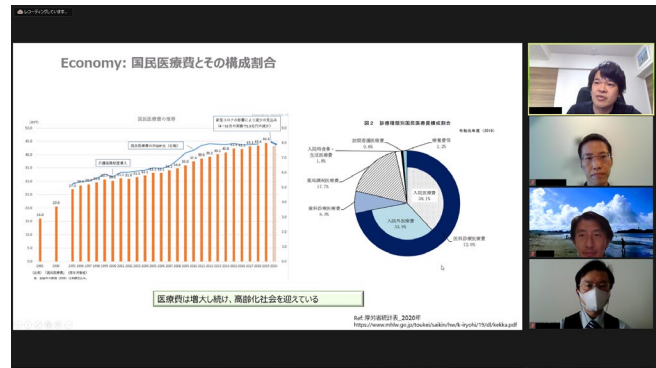
期間	2022年11月18日（金）、19日（土）、20日（日）、26日（土）、27日（日）
会場	オンライン開催（但し、状況に応じて対面開催も検討します。）
定員	25名程度（最少催行人数に満たない場合は、コースの開催を中止することがございますので、予めご了承ください。）
受講料	15万円／人（受講料には、テキスト代等を含みます。） ※ 地方自治体職員（病院勤務者を除く）および大学院生（社会人学生を除く）の方の受講料については、在職・在籍確認の上、5万円／人といたします。 ※ 過去に本コースを受講された方は、テーマ4、基調講演および実践現場からの報告を、4万円／人で聴講いただけます。
受講申込期間	2022年6月1日（水）～8月31日（水）
受講申込方法	Web申込となります。下記のページから受講申込フォームへお進みください。 https://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/program/ 受講申込書に基づいて書類選考を行います。選考結果は9月8日（木）までに受講申込者全員にお知らせします。
受講料の支払	書類選考の合格者には、後日、請求書を発行いたします。10月7日（金）までに入金をお願いいたします。 期日までに入金が確認されない場合は、受講資格を取り消します。 主催者都合によりコースの開催を中止した場合を除き、受講料の返金はいたしません。予めご了承ください。
実施者	本短期集中コースは、一般社団法人一橋大学知識共創機構からの受託事業として、一橋大学大学院経済学研究科および社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター（HIAS Health）が実施するものです。

第4回医療経済短期集中コース

第4回目となった2021年度の「医療経済短期集中コース」は、2021年11月5日(金)、6日(土)、7日(日)、13日(土)、14日(日)の日程でオンラインにて行われました。地方自治体、医療関係者やコンサル、製薬企業など多様な分野から、19名の受講生にご参加いただきました。



(パネルディスカッション)



(受講生によるグループワーク報告)

第4回医療経済短期集中コース 受講生の声

受講者へのアンケートでは、受講いただいた85%以上の方から「本コースを誰かに薦めたい」とご回答いただきました。以下、受講生アンケートのご意見から。

- 医療機関における管理会計は、公益性が高いため馴染まない・難しいものと思っておりましたが、営利企業さながらに取組まれ、その全体像や課題等を学ぶことができ、大変参考になりました。
- 医療計画の中で、コロナ禍での医療体制において、どの点がシステム上の短所であったのか、データを見る事で、非常に理解しやすく、かつ今までの認識の違いがわかり、大変有用であった。データ分析により、ものの理解への重要性が理解が出来たものとする。
- 費用対効果について、はじめて体系的に学ばせていただいたので大変参考になりました。可視化する意義やみんなが納得する解を導くための手段、またその結果が全てではない事など、とても腹落ちしました。そのためにも有効なデータ収集が今後重要になってくるなど、初心者でも分かり易い説明をありがとうございました。
- 医療現場で働き、日頃から費用対効果は診療報酬で馴染んでいる状況ですが、改めて聞き、考える事で「医療の価値」や「公平性」が考えさせられた。国民皆保険の意味による認識が少しずつ、人により違いがあるのは、「生きる」事への意味や認識の違いであり、質的評価の難しさを感じます。この中で今回講義受講は大変有用であったと感じます。経済という切り口で新しい知見を得られたことは有用であったと考えます。
- いろいろな目的があり、混在する中で政策がこうじられている事に理解が深まった。人々の動機意識やその意味理解から政策が構築されている。生活の中で、習慣化されて行動が多い中で、全般的に理解することで、医療治療にも参考になります。どう健康について、行動させ、支援するのかを考える参考になりました。ありがとうございます。
- インプットのみの研修ではなく、学んだことをアウトプットできる場があるとより学びが深まると実感できました。グループワークの時間もバックグラウンドが異なるメンバーとの意見交換は、発想・思考も異なることがあり、気付きも多くとても有意義でした。

一橋大学社会科学高等研究院

一橋大学では、日本および世界の喫緊の社会的な重要課題に対して、学際的かつ集中的に取り組む国際共同研究のハブ(拠点)として、平成26年に、学長直轄の研究組織「一橋大学社会科学高等研究院」を設置しました。英語名「Hitotsubashi Institute for Advanced Study」の頭文字から HIAS(ハイアスと発音します。)を略称としています。さらに、社会的な重要課題の一つである、医療・介護・社会保障を取り巻く問題の解決のために、質の高い社会科学研究によって貢献することを目的に、平成28年2月に HIAS のもとに「医療政策・経済研究センター(HIAS Health)」を設置して、研究を進めています。

コースの概要 (2022年度)

- 期 間 2022年11月18日(金)午後、19日(土)、20日(日)、26日(土)、27日(日)
- 会 場 オンラインもしくは一橋大学 千代田キャンパス
(東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内)
- 定 員 25人
- 受講料 15万円/人
※受講料にはテキスト代等を含みます。
※地方自治体職員(病院勤務者を除く)および大学院生(社会人学生を除く)の方の受講料については、在職・在籍確認の上、5万円/人いたします。
- 受講申込み 2022年6月受講申込み受付開始予定(WEB申し込み)
<https://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/program/>
- 実施者 一橋大学大学院経済学研究科および社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター(HIAS Health)



コースの特徴

EBPM(科学的な根拠に基づいた政策立案)

HIAS Healthにおける最先端の研究成果を取り入れ、社会科学の知見を医療の政策立案・実務の現場に反映させることを目指しています。

実務的な統計手法の習得

医療経済分析における統計の手法について、講義とエクセル等統計ソフトを用いた演習を通じて学びます。

座学とグループワークを合わせたアクティブ・ラーニング

講義のテーマの中から事前に受講生に希望調査をし、関心に応じて、5名程度のグループを編成し、グループワークを行います。

受講生間の交流

自治体・医療関係者等、バックグラウンドの異なる受講者間の交流・関係構築を促し、政策立案と現場の連携に繋がります。



●お問い合わせ先
一橋大学社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター(HIAS Health)
〒186-8601 東京都国立市中2-1
URL <https://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/>
E-mail hias-info@ad.hit-u.ac.jp



社会連携プログラム

第5回

医療経済 短期集中コース

—EBPMで考える医療経済—



一橋大学
大学院経済学研究科
一橋大学社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター

医療経済短期集中コースについて

医療・介護に関わる専門職の方々がEBPMの考え方を理解することが、これまでに増して重要となる中、一橋大学では、社会人を対象とした高度職業人専門プログラム(リカレント教育プログラム)である「HIAS Health社会連携プログラム医療経済短期集中コース」を、2018年度より開講しました。

コースでは、データに基づいた医療・介護に関わる政策・経営の実態把握と分析や効率化に向けた手法等を、データ分析の初心者にも分かりやすく講義します。また、演習・グループワークなどのアクティブ・ラーニングを組み込み、内容への理解を深めるとともに、バックグラウンドの異なる受講者間の交流・関係構築の促進が図られます。是非、医療・介護の現場で仕事をされている方、政策立案に携わる方、製薬企業、大学関係者など医療経済に関心のある方に、広く受講していただければと願っております。



佐藤 主光 Motohiro SATO

一橋大学社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター(HIAS Health)
センター長
一橋大学大学院経済学研究科 教授
一橋大学国際・公共政策大学院 教授

コースの内容 (例:2021年度の時間割から)

2022年度の時間割は6月にHPで公開予定

- コースで使われる統計学の基本
[講師] 中村 良太 一橋大学社会科学高等研究院 准教授/HIAS Health 研究員
- 医療保健政策の政策評価 講義と演習
[講師] 高久 玲音 一橋大学大学院 経済学研究科 准教授/HIAS Health 研究員
- 医療機関の管理会計 講義と演習
[講師] 荒井 耕 一橋大学大学院経営管理研究科 教授/HIAS Health 研究員
- 医療政策の時事報告 医療ビッグデータをどう医療政策に活かすか
～新型コロナウィルスが病院経営に与えた影響から～
[講師] 渡辺幸子 株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン 代表取締役社長
- 費用効果分析 講義と演習
[講師] 五十嵐 中 横浜市立大学医学群 健康社会医学ユニット 准教授/
東京大学大学院 薬学系研究科 客員准教授/HIAS Health 客員研究員
- コロナ禍が明らかにした我が国の医療のガラパゴス化
～東京医科歯科大学の経験から～ 講演
[講師] 田中雄二郎 東京医科歯科大学 学長
- 診療報酬・薬価はどうやって決まるのか～制度と課題～ 講演
[講師] 小塩隆士 一橋大学経済研究所 教授/HIAS Health 研究員
- 健康行動 講義
[講師] 中村良太 一橋大学社会科学高等研究院 准教授/HIAS Health 研究員
- 実践現場からの報告 東京都地域医療構想の実現に向けて
[講師] 奈倉史子 東京都福祉保健局 医療政策部 計画推進担当課長
- 実践現場からの報告 総合診療の意義とポスト・コロナの
かかりつけ医のあるべき姿
[講師] 南郷栄秀 社会福祉法人聖母会 聖母病院 総合診療科
- グループワーク ■グループワーク報告会 ■パネルディスカッション

受講生の声

- 医療機関における管理会計は、公益性が高いため馴染まない・難しいものと思っていましたが、営利企業さながらに取組まれ、その全体像や課題等を学ぶことができ、大変参考になりました。
- 医療計画の中で、コロナ禍での医療体制において、どの点がシステム上の短所であったのか、データーを見る事で、非常に理解しやすく、かつ今までの認識の違いがわかり、大変有用であった。データー分析により、ものの理解への重要性が理解が出来たものと考えている。
- 医療現場で働き、日頃から費用対効果は診療報酬で馴染んでいる状況ですが、改めて聞き、考える事で「医療の価値」や「公平性」が考えさせられた。国民皆保険の意味による認識が少しずつ、人により違いがあるのは、「生きる」事への意味や認識の違いであり、質的評価の難しさを感じます。この中で今回講義受講は大変有用であったと感じます。経済という切り口で新しい知見を得られたことは有用であったと考えます。
- いろいろな目的があり、混在する中で政策がこうじられていく事に理解が深まった。人々の動機意識やその意味理解から政策が構築されている。生活の中で、習慣化されて行動が多い中で、全般的に理解することで、医療治療にも参考になります。どう健康について、行動させ、支援するのかを考える参考になりました。ありがとうございました。
- インプットのための研修ではなく、学んだことをアウトプットできる場があるとより学びが深まると実感できました。グループワークの時間もバックグラウンドが異なるメンバーとの意見交換は、発想・思考も異なることがあり、気づきも多くとても有意義でした。



2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、オンライン形式での開催となりました。